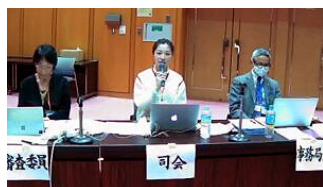




この新聞はHP (<http://www.npo-asia.org>) でも読めます。 上のQRコードを読み取ってください
〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-18-22-414 E-mail: new-wind2006@npo-asia.org

「創立二十周年」へ向けて、実り多い「新春交流会」

2023年2月19日(日)午後2時より、交流校4大学と会員を市ヶ谷JICA地球ひろば会場とオンラインで結んでのハイブリッド新春交流会が、会員68名、交流校Iメイト学生、教員、OBOG含め40名、ゲストの鷗友学園女子中学高等学校教員生徒16名など総勢120名を超える参加者を得て、アジ風創立20周年プレイベントとして開催されました。



＜司会の王鶴さん＞

交流4校と架け橋グループから2名ずつ選ばれたIメイト学生10名が、「平和を希求する日本の民の心」を表す日本語の詩や短文から選んだ課題対象文を朗読、その感想を発表、審査委員の奥山寿子理事からの質疑応答を受ける形式で進行し、会員投票により上位3名を選ぶプレゼンテーションコンテスト形式で行われました。

総司会は元Iメイト留学生の王鶴さん(現在日本企業に勤務)が担当、加納啓良理事長から開会挨拶のあと、審査基準について審査委員の上高子副理事長から説明があり、プレゼンテーションコンテストに入りました。

発表者の皆さんは、作者の心情に踏み込んだ朗読、自分なりの解釈、

感想などを力強くプレゼンしてくれました。

奥山理事からの質問には、一生懸命に言葉を選びながら語ってくれました。

プレゼンの後、会員59名による投票が行われ、上位入賞者が次のとおり決まりました。

第1位 タマサート大学 カーンシリ・ピティパットさん(課題対象文: 私が一番きれいだった時)

第2位 架け橋グループ 金 佑真さん(同: 君死にたもうことなかれ)

第3位 パジャジャラン大学 アリサソフィアプラダニさん(同: 平和への誓い)

上副理事長から、入賞者を称える講評があり、加納理事長から表彰状が読み上げられました。そして上位入賞者の3名に加えて第1位入賞者の指導教官タマサート大学シリワン先生からオンラインを通じて受賞に対するコメントがありました。

最後に事務局から、アジ風創立20周年記念祝会の日程(2023年7月9日、日曜日予定)などが紹介され、盛況のうちに午後5時閉会となりました。

(事務局長 西澤 逸実)



＜画面の受賞者に賞状を授与＞



「平和を希求する日本の民の心」プレゼンテーションコンテスト、受賞者の思い

競争より自分をチャレンジ (第1位受賞)

今回のコンテストに優勝することができて、とても嬉しかったです。多くの日本人の皆様が私に投票してくださったことに、感謝申し上げます。今回のコンテストに参加したのは、競争より自分をチャレンジしたいという思いでした。



練習を見ていただいた先生と、いいアドバイスをくれたなおさん(大石さん)にも感謝しています。これからも、このような自分の能力をチャレンジするコンテストが行われたら、Iメイトの学生にとって、いい機会になると思います。

7月にアジアの新しい風の創立20周年記念イベントに参加することも楽しみにしています。今回の日本への招待では、色々なことを学べると思いますので、この機会を無駄にしないように一生懸命頑張ります。オンラインでしか会ったことがないIメイト会員の皆さんに直接お会いできることも楽しみにしています。

(タマサート大学3年 カーンシリ・ピティパット
Iメイトは大石純さん)

いつか与謝野晶子さんのように (第2位受賞)

この度、朗読コンテストで2位を受賞できてすごく光栄です。この賞をもらうことができたのは私の周りで応援してくださった皆様のおかげです。朗読でアドバイスをしてくださった王亜民さん、原稿の中の日本語の使い方を修正してくださったIメイトの西尾さん、学校の先輩たち、皆様の手伝いがなかったら受賞することもないでしょう。本当に心の底から皆様に感謝しております!



このコンテストのおかげで、私は与謝野晶子さんを知ることができました。彼女の才能も、権威に恐れぬ勇敢さ、全てを尊敬し、憧れています。自分もいつか与謝野さんのように、勇敢で自分の心の向かう所まで真っ直ぐ走ることができるように祈っております。

そしてこれからも日本語を勉強する道に歩き続けたいと思います。

(清華大学大学院 金 佑真 ジン ユジエン
Iメイトは西尾のぞみさん)

日本語に前より自信が湧いた (第3位受賞)

この度、アジ風主催の日本の詩の朗読コンテストに3位に受賞することができて本当に嬉しいです。正直を言いますと、他の参加者の方々がとてもレベルが高くて、この順位をいただけたと思います。受賞コメントを言っていた時、びっくりしすぎて、上手く気持ちを伝えられなかったのです。

3位をもらえるのもきっと私だけの力ではありません。指導していただいたサムスル先生と一緒に練習してくれた友達みんなのおかげでもらえた結果だと私は思います。この賞をいただいて、自分の日本語に前より自信が湧きました。受賞を機に、日本語について色々なコンテストにもっと積極的に挑戦しようと思います。

(パジャジャラン大学2年 アリサソフィアプラダニ
Iメイトは千歩和人さん)



与謝野晶子が日露戦争に従軍する弟に詠んだ「君死にたもうことなかれ」。読み返すと凄さが改めて伝わってくる。「すめらみことは戦いにおおみづからは出でませぬ、かたみに人の血を流し獣の道に死ぬよとは死ぬるを人のほまれとは、大みこころの深ければもとよりいかでおぼされん」。大町桂月が「国賊」と批判したという。当時、天皇を口にすることすら勇気の要ることだったろう。

日本語を学ぶアジアの学生を支援するNPO「アジアの新しい風」（上高子副理事長＝丹波市出身）主催のプレゼンテーション大会で、この詩が「平和への誓い」（広島の小学生）などと共に課題に出た。1篇を選び自分の想いを語ってもらう趣旨。中国、ベトナム、タイ、

インドネシアの大学生10人が自国からオンラインで出場した。

「国や民族の前に、まず身近な人への愛を大切にしたい」。学生達は「平和を希求する日本の民の心」を知ってもらうという主催者の意図をよく理解したようだった。かつての戦争で日本軍に土足で踏み込まれたことを先人から聞かされた学生もいたかもしれない。日本国民が熱狂したことも。これからの世にはあり得ないとは言いきれない。その逆も。しかし、民衆同士が草の根で心を合わせておくことこそ最大の抑止になろうと、催しは教えてくれた。

（正会員 小田 晋作）

まもなく創立二十周年 趣向を凝らした昨今の交流会

貿易大学オンライン交流会

1月8日、会員21名、学生18名、合計37名の参加で交流会が行われました。

まず学生から恒例の自己紹介ビデオ、ベトナムの地域別お正月についてのビデオ動画があり、続いて会員の児玉久美子さんから伝統的な日本のお正月についてPPTによる発表がありました。ベトナムも日本も詳しく興味深い発表だったので活発な質疑応答も行われ、それぞれ理解を深めました。

小グループでは、お正月の風習の変化、料理、明治時代以前は日本も旧正月だったことなど話題がでました。日本とベトナムの違いで印象的だったのは、ベトナムの学生は家族と共に旧正月を迎えるため掃除や料理などに協力する姿勢がしばしばみられる、その一方で、成人年齢に達する18歳以上はアルバイト収入もあるためお年玉を貰わないのが一般的だそうです。ベトナム学生の自立の確かさを痛感させられました。

当日欠席者もありグループ懇親会では人数差がみられましたが、どの学生も一生懸命日本語を話していました。日本への留学を具体的に検討している学生もいて、引き続き彼らを応援したいと思う年明けとなりました。

（交流コーディネーター 小林 玲子）



＜旧正月、テトの祭り＞

清華大学オンライン交流会

2023年1月14日の清華大学Iメイト交流会では、Iメイトと初めて顔を合わせた方も多く、自己紹介や小グループでの会話などで交流を深めました。ファシリテーターの皆様に、各グループの様子を伺ってみると、

- 春節の過ごし方の質問に対し、学生全員が、コロナから解放されたので故郷（実家）で家族と過ごし、外には出ないとのことでした。
- 中国北部では、新年に餃子を食べるが、南部ではお餅をスープに入れて食べる習慣があるそうです。日本の雑煮も、京都では白いみそ汁に丸いお餅、関東では澄んだ汁に四角いお餅など、地域差があると伝えました。
- 数年のコロナ禍で、今年やってみたい事を質問すると、旅行に行きたい・恋人を見つけないという話で盛り上がりしました。
- 日本の大学の気質、気風の違いについての質問があり、地域により歴史的な文化が異なるため、その影響もあるだろうと伝えました。
- 今秋から日本へ留学予定の学生も多く、「日本でのアジ風交流会で再会しましょう」という話になりました。

このように充実した時間を共有できたようです。

（交流コーディネーター 三木 京子）

話を交わす嬉しさ

1月14日の交流会は本当に楽しかったです。参加者の皆さん、ありがとうございました。この間のメールのやりとりで、自分のIメイトは優しい方だとわかっていますが、交流会で初めて対面で会って話を交わすことができ、とても嬉しかったです。

実は交流会の前、日本語がうまく通じるか、話題がなかったら気まずくならないかなど、いろいろ心配してビクビクしていました。しかし交流会の時、ファシリテーターと皆さんのおかげで会話がうまく進んで、いろんな面白い話題で盛り上がっていました。

今回の交流会で、日本語を使う機会を得て、Iメイトと対面で話し合うこともできたので、とても貴重な経験だと思います。

（2年 邱昊炜 キュウ コウイ Iメイトは高吉智子さん）



パジャジャラン大学オンライン交流会

3月5日（日）のうらかな春の日に、Iメイト交流会を開催した。

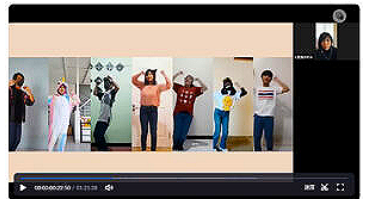
昨年11月にマッチングを行ったペア20組のうち、学生は19名、日本側の会員は案内が遅れたこともあって13名。合計32名が参加した。

まず、学生がキャンパスや教室の内部、和室や図書室などを動画で案内。次にアニメーションによるクラブ紹介。漫画クラブ、演劇、声優、音楽、ダンスなど、国が違えども若者の嗜好は共通するものがあるのだと、熟年会員は改めて年代の差を感じてしまった。

続いて、日本の春の行事として、ひな祭りと端午の節句をパワーポイントで紹介した。童謡の「たのしいひな祭り」と「鯉のぼり」を流したが、やさしいメロディと歌詞なので、学生も歌ってくれたと思う。

最後に5つのグループに分かれて、自由会話を楽しんだ。はじめてパートナーと話すというペアもいて、始めは少しぎこちなかったようだが、日本の行事の話、学生の出身地、趣味、クラブ活動や将来の職業、日本留学の話など、グループごとにいろいろな話題で盛り上がった40分だった。

（Iメイト交流担当理事 奥山 寿子）



＜ダンス部、それぞれのポーズ＞



架け橋グループでは、1月に2組の交流会を開催

☆1月7日に日本ー中国間でオンライン交流会

2022年にマッチングした院生8名と会員6名、事務局とコーディネーターの3名、合計17名が参加しました。学生は、ビジュアルな資料を使って専門や趣味などを自己紹介しました。参加できなかった会員からのパワーポイントを使った自己紹介や、昨年すでに帰国した湯くん（2年先輩）が日本での生活体験や感想を紹介してくれました。

その後は2グループに分かれて約40分間のフリートーク。留学した時に、日本でやりたいこと、経験してもらいたいことなどを話しあいました。

理工学系の学生が多く日本語の不得意な学生もいて、英語も交えながらのやり取りでしたが、顔を見ながらの会話で楽しい時間となりました。この学年の学生は今年の9月に来日し、東京工業大学で修士課程の研究活動をする予定です。

☆1月21日に横浜でリアル交流会

すでに来日している、2020年と2021年にマッチングした学年の院生8名と、会員ら11名、ゲスト2名の合計21名で、横浜ベイエリアでの交流会を楽しみました。

横浜みなとみらいのホテルでのランチでは、2月に



<横浜の冬青空の下で>

帰国した石くんと臧くんが日本の印象などを(英語で)スピーチし、その後食事と歓談の時間を楽しみました。午後は、日清カップヌードル博物館を見学し、即席麺開発の歴史や新分野開拓の苦労と、世界シェア2位の迫力を感じました。また参加者が各自のカップ麺作りを体験したり、横浜港の眺望を楽しむことができました。

その後は、小グループに分かれて、中華街などを散策し懇談しました。晴天に恵まれ、ちょうど春節の時期なので、学生たちにとってはよい機会になりました。

今回の交流会には、東京工業大学の、留学生交流課交流推進グループ長の松村佳さんからも事前にアジ風役員にご挨拶頂きました。

(交流コーディネーター 浮田 輝彦)

タマサート大学オンライン交流会

1月29日にオンライン交流会を実施した。参加人数は会員、役員21名、学生、教員が同じく21名。特に昨年1メイト交流に参加した学生はほぼ全員が参加し、過去最大の交流会となった。

自己紹介の後、「タマサート大学の学生生活」「部活の紹介」「日本と関係がない日本語」のプレゼンテーションが行われた。素晴らしい教育環境と諸々の活動には目を見張るものがあり、羨ましいと感じるほどだった。その後、日本留学中のタンチャノックさんによる「おしゃべりの場」紹介、6グループに分かれての自由討議へと進んだ。

日本人会員からは大学紹介のプレゼン動画が素晴らしかった、グループ討議が盛り上がった等、大好評だった。アニメ、漫画等のサブカルチャーへの興味が日本語を学ぶきっかけとなった学生達も、会員とのグループ討議を通じ、より一層日本への興味が湧いたようだ。

日本語を学び始めた1年生が多いことで心配していた意思疎通も、先輩学生、先生方のヘルプにより問題なくできたようで安堵した。今後とも楽しく交流・支援を続けたいと感じる時間だった。

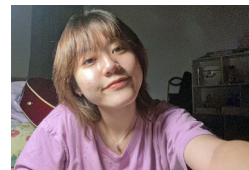
(交流コーディネーター 富平 茂)



<素晴らしいキャンパスライフ>

ドキドキ、ワクワクの日本語

私は日本語が好きです。書くのも、アニメや歌を見たり聞いたりするのも大好きです。ですから、日本語を上手になりたいです。



アジ風に入ってから日本語を使うチャンスが増えてきました。1月に初めて交流会で1メイトと話をしました。とてもドキドキしました。顔を合わせて話すことができて嬉しかったです。先輩や友達との1メイトとも話しました。全部日本語で話してみましたが少し緊張しました。言いたいことがたくさんあって、いろんなことを考えましたが言葉があまり出てきませんでした。でも1メイトがゆっくり話してくれ、みんなも簡単にしてくれたので会話が分かりやすくなりました。すごく楽しかったです。もっと上手になって、また一緒に話したいです。

(1年 シャリサー・メーターピスィット

1メイトは含本一雄さん)

会員紹介

山田 琴恵さん

山田さんは北海道常呂郡（現在の北見市）留辺蘂（るべしべ）町という人口1万人に満たない町で高校まで育ちました。北見は薄荷の名産地で、曾祖父は、原料の栽培育成から、ハッカオイルの製造・販売・輸出まで手広く事業を拡大されました。その留辺蘂から北見の高校へは、駅まで徒歩20分、列車に乗って40分、更に30分歩かないと着かないのです。しかもその「列車」は日に3本しか走っていませんでした。しかしそれだけに、自然はとても豊かで、冬は裏山でスキー、学校の校庭は天然スケートリンク、お蔭で足腰はすっかり強くなり、還暦を過ぎた今でも若者に負けない逞しさです。

音楽好きの家庭で育ち、ピアノ、フルートが得意で、歌うことも大好きです。大学は奇遇ながら、アジ風がいつもお世話になっている昭和女子大学の英米文学科に進まれました。大学時代は声の良さを買われてJR（当時は国鉄）渋谷駅のアナウンス嬢のアル

バイトをされたそうです。

大学を出て暫く日本航空の関連会社に4年ほど勤めている間に最愛の人と結ばれ、双子の親になりました。流石に仕事と双子の母親は両立できず、3年ほどは主婦業に専念されましたが、世のため人の為にもっと役立ちたいと思い、花王に入社し、得意の語学力を生かして、同社が世界中に展開する海外事業人材の受け入れや派遣に、人事担当として活躍されました。



海外旅行が好きで、特にイタリアワインとレオナルド・ダ・ヴィンチが大好きで、何度もイタリアを訪れたそうです。

2年前に定年を迎え、一段落したのを機会に、会社の元上司で会員の井上巖さんからアジ風に誘われ参加。1メイトは未だハノイ貿易大学の二人だけですが、今後時間が出来ればもっと交流を増やし、アジ風からの留学生受け入れにも現役時代の経験を生かして、お役に立ちたいと朗らかな笑みを浮かべられました。

インタビュー：園田 成和



ベトナム全土では幸いなことに完全にコロナ前の生活に戻ったそうです。今もおマスクを着けている人も多いですが、コロナでなく埃対策とのこと。春を迎え学生たちも活気ある学生生活を送っていることでしょう。今回は SNS での会話やメッセージも取り入れられている林孝男さんとド・フォン・アインさん、志村真帆子さんとグエン・アイ・リンさんにご寄稿いただきました。

(交流コーディネーター 小林 玲子)

林孝男さんとド・フォン・アインさんの交流

林さん → アインさん 2021年 11月 7日

あなたの I メイトになりました「林 孝男 (ハヤシ タカオ)」です。今は NPO 関連で社会奉仕と自己研鑽をしています。趣味はゴルフと音楽でカラオケも良く行きます。

アインさん → 林さん 11月 8日

初めてメールを送らせていただきます。私はド・フォン・アインと申します。「アイン」と呼ばれています。あなたの I メイトになって嬉しいです。



貿易大学でビジネス日本語を勉強しています。趣味は映画を見ることがと音楽を聞くことです。特に、BlackPink の音楽です。カラオケも好きです。

将来、日本へ勉強に行って、IT の仕事をしたいと思います。私の日本語がまだ下手です。

これからも頑張ります。

林さん → アインさん 11月 9日



あなたのメール文章は完璧ですね！驚きました。N4 レベルではなく N2 レベルですね！今後は私の使っている Facebook の Messenger 機能か、LINE で会話の練習しましょう。以前は YouTube でも歌を UP していました！聞いてみてください。

アインさん → 林さん 11月 10日

褒めてくれてありがとうございます❤️。実は 1 年前に、JLPT N4 に合格しました。しかし、コロナ禍で 7 月の JLPT が中止されたから、レベルアップできません。今度の 12 月にぜひ JLPT N2 を取りたいと思っています。

私は LINE を使いませんが、これから使い方を学び始めます。また、林さんの YouTube を聞いてみました。今後会話を練習しましょう！発音やイントネーションを直してくれて有難いです。

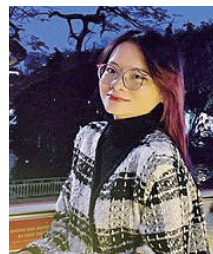
このような感じでとてもレスポンス良く交流を始めました。内容は、日本の地図に関する知識から四文字熟語、三文字熟語、反対語、日本のことわざ等色々なテーマで会話練習をしました。

昨年秋にはアジア地域各大学の日本語スピーチコンテストが開催され、アインさんは北ベトナム代表として出場し 2 位に入賞しました。

志村真帆子さんとグエン・アイ・リンさんの交流

アイリンさん → 志村さん 2021年 11月 10日

はじめまして。わたしはグエン・アイ・リン。わたし達は同じ歳と思っていますね。アイリンちゃんと呼んでください。貿易大学で BUSINESS 日本語を勉強しています。趣味は美味しい食べ物を食べるし、映画を見るし、友達と遊びに行きます。日本の食べ物はうどんが好きです。



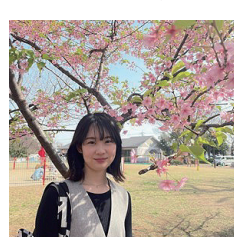
真帆ちゃんの趣味は読書ですね。よく読む本を紹介してくれませんか。メールを楽しみにしています。

アイリンさん → 志村さん 2023年 1月 15日

1 月 22 日は元旦ですから、その前に家を片付けなければなりません😓考えただけで疲れた感じがします😓

志村さん → アイリンさん

片付けは私も苦手です😓でもお正月だけは掃除を頑張りました😓テトでは、日本でいうおせちみたいな食べ物がありますか？



アイリンさん → 志村さん

ありますよ。バインチュンと呼ばれます。私と家族と一緒にバインチュンを作りました。真帆ちゃんが来たら一緒に作ります😊

真帆ちゃんは冬休みに何かするつもりですか。私はまだテト休みにいます😓来週から大学に帰ります😓この間、家族と一緒に神社に行き、アオザイを着ました。

志村さん → アイリンさん

それは楽しみです！！青いアオザイもあるんですね。似合っていて可愛いです😓私は冬休みから本格的に就活が始まります。アイリンちゃんも大学頑張って👍

志村さん → アイリンさん 2023年 2月 10日

インターンの準備は進んでいますか？😓

アイリンさん → 志村さん

心配してくれてありがとうございます❤️生活が全部変わります😓日本での生活は分からないことがたくさんあって、教えてもらえませんか😓

志村さん → アイリンさん

これから新しい場所で途惑うこともあると思いますが、遠慮せず相談してください👍

アイリンちゃんのいるホテルに泊まりに行きますね！

今後の行事予定

*詳細はHPを参照

5月27日(土)	西日本交流会 京都市国際交流会館
7月 9日(日)	創立20周年を祝う会 午後から詩の朗読コンテスト入賞者を交え 一泊二日の予定で山中湖にてグランピング
9月10日(日)	総会
10月中旬	タマサート大学訪問旅行

・・・編集後記・・・

椿が咲き始めると口ずさむ「巨勢(こせ)山のつらつら椿つらつらに見つづ偲はな巨勢の春野を」は、葉の間につらつら連なって咲いている椿を、お茶目な言葉と調べの滑らかさで詠う、春の温もりが漂い初める万葉集の歌です。

年明けから次々と開催された I メイト交流会もつらつら椿のようで、参加した学生達は国を問わず「日本語が楽しい」「会話が面白い」「もっと学びたい」と椿の花を咲かせ、集大成のコンテストで、文語体の詩、現代詩、「平和への誓い」にチャレンジした 10 人の学生はそれぞれが素晴らしい椿です。面白いだけではなく奥深く美しい日本語、自分の気持ちからあふれ出る生きた日本語を学んで欲しいと思います。

4 ページ I メイト便りの執筆者・志村真帆子さんが新しく新聞編集委員に加わられました。学生会員ならではのフレッシュな風をご期待下さい。

原谷 洋美